

九州大学(学部入学定員:2,555人)

[取組学部・研究科等: ○農学部(229人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

本構想によって育成するグローバル人材像は、『次世代農学(アグリバイオ)の広範な基礎知識と各々の専門分野の知識・技術を修得し、農学を取り巻く地域・地球規模の課題を解決するための汎用技能(多文化・異文化に対する知識、問題解決力、論理的・創造的思考力等)と俯瞰的視野を持って把握し、国際的にリーダーシップを発揮できる人材』である。

【構想の概要】

農学部国際コース(G30)の外国人留学生と一般入試で入学した学生の1~2割程度(英語力によって選抜)に、英語講義科目(専門科目)をクラス共有で受講させる。それらの講義科目に相当する一般学生用講義科目との単位互換を行う。また、クラス共有の学生(国際コースの留学生+クラス共有許可一般学生)には、通常カリキュラムに加えて、日本・ASEAN 農学における、最重要で未解決な問題解決の科学プログラム科目(Problem-based Learning)を設定し、受講を必修とすることで、英語によるプレゼンテーション・ディベート能力、問題に対する解決策の提案能力等のグローバル展開汎用技能を修得させる。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

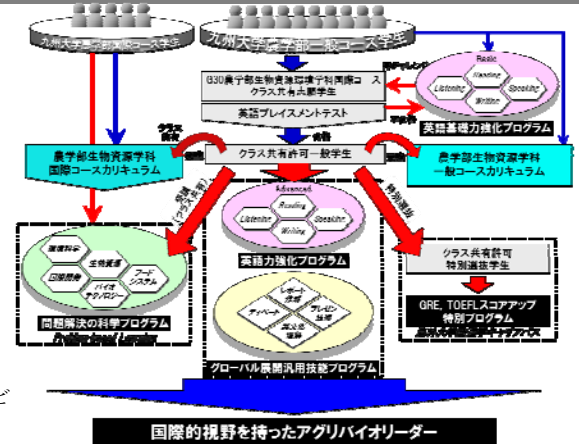
本構想の最大の特徴は、現在3期生を迎える農学部生物資源環境学科国際コース(外国人留学生)と、選抜された日本人一般学生とのクラス共有であり、国際コースと一般コースとの単位互換制度を確立させ、将来的には、両コース共通カリキュラム(英語による講義)を設定することにある。この共通カリキュラムを徐々に拡大させることによって、日本人学生が、英語による講義を何の抵抗もなく受講できる環境整備を充実するように計画している。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

国際的な教育者の情報交換および研究組織であるNAFSA: Association of International Educators およびAPAIE: Asia Pacific Association for International Education, EAIE: European Association for International Education 等の年次国際会議において本取組を世界に向けて紹介する。

○ 事務体制のグローバル化

事務職員にTOEICを受験させ、最終目標をTOEIC 800点とする。カリフォルニア大学デービス校に事務職員用のカスタマイズしたプログラムを夏期4週間のプログラムとして受講させる。



■ グローバル人材として求められる能力の育成

(1) 九州大学農学部は、国際コース(G30)入学試験を行っており、毎年、外国人留学生を10名程度選抜している。入学した学生の英語レベルは、約80%が、TOEFL-iBTスコア80以上である。国際コースは完全英語講義のカリキュラムであり、このコースに、英語プレシメントテストで、TOEFL-iBT 80相当以上のレベルの一般選抜学生をクラス共有させ、英語で講義を受講することで、コミュニケーションツールとしての英語力アップの環境、異文化理解の機会を与える。(2) 英語プレシメントテストで水準スコアレベルに達しなかった学生に対しては、英語基礎力強化プログラムを受講させ、半年後に再チャレンジさせ、クラス共有可能な学生数の増加を狙う。(3) クラス共有許可の一般学生には、英語力の更なる向上のため、英語力強化プログラムを受講させ、同時に英語によるディベート・プレゼンテーション技術、英語レポート作成等のグローバル汎用技能を熟知させる。(4) 国際コースおよびクラス共有許可の一般学生には、農学を取り巻く地域・地球規模の課題を解決するための問題解決の科学プログラムを受講させる(実施場所は、欧米及びASEAN学生交流協定校)。(5) 特に英語力が優れている学生(TOEFL-iBT 100相当以上)を特別選抜し、GRE、TOEFLスコアアップ特別プログラムを受講させ、大学院進学後にフルブライト奨学金等の国際的な奨学金を獲得させたり、欧米のトップランクの大学院に入学可能なレベルまでスコアアップさせる。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

AO入試は、大学入試センター試験に加え、志望理由書及び面接試験により、高校での英語の成績、語学検定の資格や留学経験の有無等を把握し、小論文試験等を含めた総合判断の要素としているが、(1) 10月入学用のAO入試および(2) 国際コースへの日本人学生入学について検討を開始する。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

学生の語学力向上度の測定は、国際コースとのクラス共有を許可された学生に対しても、Semesterごとに、TOEFL-iBTを受験させ、クラス共有許可の水準スコア(TOEFL-iBT 80相当)未満の学生に対しては、クラス共有と無償の英語力強化プログラムの受講を不許可にし、クラス共有の質の保証を確保する。水準に達しない学生に対しては、英語基礎力アッププログラムを受講させ、再度のチャレンジにより、国際コースとのクラス共有の機会を与える。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

国際コースの外国人教員による英語教授法に関するFDを定期的に開催し、共通コースカリキュラムに関わる教員の参加を義務付ける。さらにカリフォルニア大学デービス校に毎年3名程度の教員を派遣し、英語コミュニケーション能力や英語による教授法を修得させる。また、協定校の外国人教員を招へいし、英語教授法等のセミナーを開催する。

○ グローバル教育力向上のための取組

英語による教授法の修得や英語コミュニケーション能力の向上を学部全教員に促すことを目的として、学生による授業評価をもとに、高評価を受け、表彰された教員等を講師とするFDおよびワークショップを定期的に開催する。また、欧米及びASEAN諸国学生交流協定校における実践型教育研修の成果を取りまとめ、農学部の全教員に配布すると同時に、それをもとに、この研修の派遣教員等を講師とするFDおよびワークショップを定期的に開催する。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

国際的視野を持ったアグリバイオリダー人材育成に選抜された学生に対して、九州大学と学生交流協定を締結している大学に優先的に短期留学させるシステムを確立する。さらに、本プログラム受講生から特別に優秀な学生(1学年あたり4~5名程度)を選抜し米国の一流大学の大学院進学候補者あるいは、九州大学大学院進学後のフルブライト奨学金奨学生候補者として位置づけ、GRE、TOEFL等のスコアアップ特別プログラムを受講させる。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

派遣学生に対してはE-ポートフォリオ形式のカウンセリングを導入する。定期的にポートフォリオを確認することにより、各参加学生の状況把握につとめる。1年間の交換留学を行っている学生には上記のE-ポートフォリオシステム内の学内SNSによりプログラムオフィスから常時就職情報を提供する。英語による就職情報の提供とサポートを行う国際キャリアサポートセンターを設置し、英語によるキャリアカウンセリングを含むサポーターの配置を行う。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

- (1) クラス共有による国際コースカリキュラム受講(一般コースカリキュラムと単位互換)による英語で専門を理解する能力
- (2) 英語力強化プログラム・英語基礎力強化プログラムによりTOEFL-iBTスコア80を最低限クリアしたコミュニケーション能力
- (3) グローバル展開汎用技能プログラムを通じて、英語によるディベート・プレゼンテーション技術、英語レポート作成等、理系英語技術の修得
- (4) 国際コースおよびクラス共有を許可された学生(TOEFL-iBT 80以上)は、問題解決の科学プログラム(Problem-based Learning)を受講し世界における農学実問題を学ぶことによる論理的思考能力
- (5) GRE, TOEFLスコアアップ特別プログラム受講を許可された学生の中でさらに特別選抜した学生(TOEFL-iBT 100相当以上)は、アメリカ、カナダの難関大学院に進学するのに必要な共通試験(GRE, <http://www.ets.org/gre/>)やTOEFL-iBTスコアアップのためのプログラム(1年間)を受講し世界の大学院専門課程に入学できる能力

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				35人	45人	56人	66人
うち海外留学未経験者数 (A)				5人	5人	8人	8人
海外留学経験者数 (B)		11人	9人	30人	40人	48人	58人
卒業[予定]者数 (C)		229人	229人	229人	229人	229人	229人
比率 ((A+B)/C)				15.3%	19.7%	24.5%	28.8%
農学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT80相当		35人(5)	45人(5)	56人(8)	66人(8)
	海外留学経験者数	11人	9人	30人	40人	48人	58人
	3カ月未満	1人	1人	22人	32人	39人	48人
	3カ月～1年	10人	8人	8人	8人	9人	10人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		229人	229人	229人	229人	229人	229人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。